



「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告（平成24年度N0.2）



1. エネルギー施設見学会

10月24日（水）開催／会員30名参加

行きのバスの中では、北陸電力(株)が取り組んでいる「志賀原子力発電所における津波に対する安全強化策」「敷地内シームの追加調査」のDVDを視聴しました。

★★北陸電力(株)志賀原子力発電所見学★★

志賀原子力発電所の見学では、発電所の概要と現在発電所で実施している津波に対する安全強化策、敷地内シームの追加調査についての説明を受けた後、バスで発電所構内を周りながら、その取組み状況を確認しました。



志賀原子力発電所 久田部長からの概要説明

★★北陸電力(株)志賀太陽光発電所・日本海発電(株)福浦風力発電所見学★★

次に北陸電力(株)志賀太陽光発電所と日本海発電(株)の福浦風力発電所を見学しました。志賀太陽光発電所の展望台から約5000枚の太陽光パネルと9基の風車をのぞみながら、それぞれのしくみや特徴、課題について説明を受けました。



志賀太陽光発電所見学



プリザーブドフラワーアレンジ体験

★★花のミュージアム「フローリィ」でクラフト体験★★

花のミュージアム「フローリィ」では、プリザーブドフラワーアレンジを体験。その後は館内の花々を鑑賞するなど、癒しの時間を過ごしました。

★★VOICE★★ ～施設見学会に参加された方の声～

- 原子力は発電電力量に占める比率からしてエネルギーセキュリティ上、非常に重要な電源であると痛感した。
- 全ての原子力をゼロに、という考え方は日本経済をますます退化させてしまうと思う。
- 安全対策に安心したが、情報開示を常時してほしい。
- 風力、太陽光に比べ原子力の働きが大きいと思った。さらに安全安定運転に力をいれてほしい。
- 原子力発電の必要性は理解できるが、将来にわたって少しずつ減少していくべきではないか。

2. わいわいトークサロン

12月1日(土)開催/会員34名参加
in ANAクラウンプラザホテル富山

★★第一部 エネルギー・環境講座★★

第一部では、(株)グループフィリア代表取締役の森田弘美さんに「欧州の電気事情を視察して」と題してご講演いただきました。森田さんは8月に北陸経済連合会の欧州電気事情視察団に女性会員で唯一参加されました。

講座では、森田さんが現地で撮影した写真とともに、欧州各国のエネルギー事情を紹介。脱原発を宣言したドイツが再生可能エネルギー開発に多くの課題を抱えていることや原子力比率75%のフランスから電気を融通できる環境にあること、デンマークの洋上風力の稼働率や建設コストなど、各国の課題について日本の状況との比較も交えてわかりやすくお話しいただきました。



★★第二部 環境にやさしい生活スタイルを考えよう★★



第二部は、富山市で紙バンド手芸サロンを開いている善田希さんによる「エコな紙バンドで小物入れづくり」を行いました。紙バンドは「再生紙を利用していること」「処分の際に有害でないこと」「道具を使わず手だけで作れること」から「エコな紙バンド」と言われています。参加者はかわいい小物入れの完成を喜んでいました。

★★テーブルトーク「未来のために考えよう。エネルギー・環境のこと。」★★

4つのグループに分かれて意見交換をしました。

各グループの発表ではエネルギー・環境講座での話も踏まえ「日本はエネルギー自給率が少ないこと、島国であることなど欧州とは環境が違う。広く情報を得て冷静に考えていかなければならない」という意見や「当面原子力は必要だと思うが、未来を考えて原子力にかわるエネルギーの研究を進めてほしい」などの感想が聴かれました。



★★VOICE★★ ～わいわいトークサロンに参加された方の声～

- 欧州の電気事情を視察された貴重なお話やスライドを見られて大変勉強になった。
- 現在、国が抱えている大きなテーマについて考えることができ大変よかった。
- テーブルトークでは、本音で話すことができ、幅広くいろいろな考え方を知ることができた。
- 「脱原発」と言うことは簡単だが、原子力に変わるものがない状況では、現状のままでいくしかないと思う。

☆発行元・お問い合わせ先☆

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

(事務局) 北陸電力株式会社 富山支店総務部総務地域チーム
〒930-0858 富山市牛島町 13-15

(TEL)076-405-1251 (FAX) 076-405-1252

(ホームページ) <http://www.toyama-enenokai.jp>



H25.1 発行

—お知らせ—

平成25年度の総会は6月1日(土)に開催します。詳細は3月にご案内いたします。